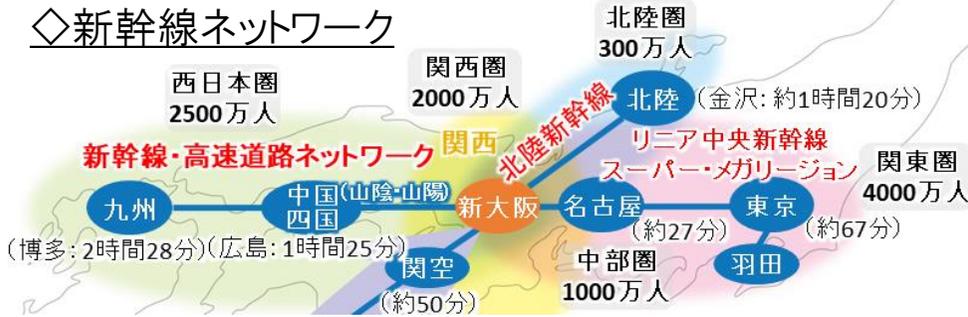


# 交通結節機能の強化に向けて

# まちづくり方針の骨格(交通結節機能)

## ○広域交通ネットワークの一大ハブ拠点<交通結節機能>

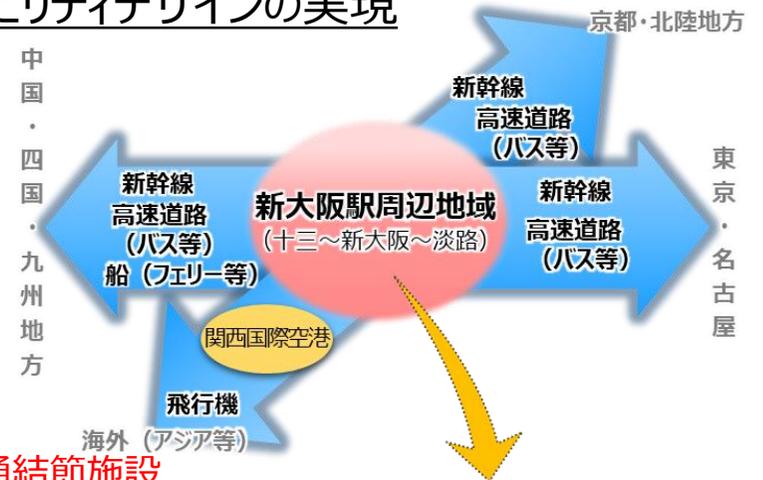
### ◇新幹線ネットワーク



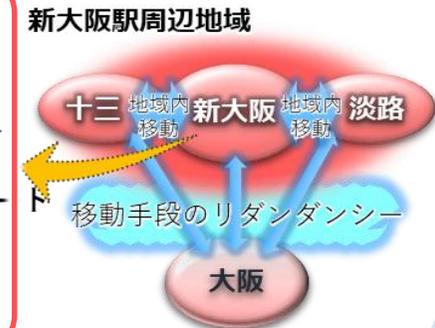
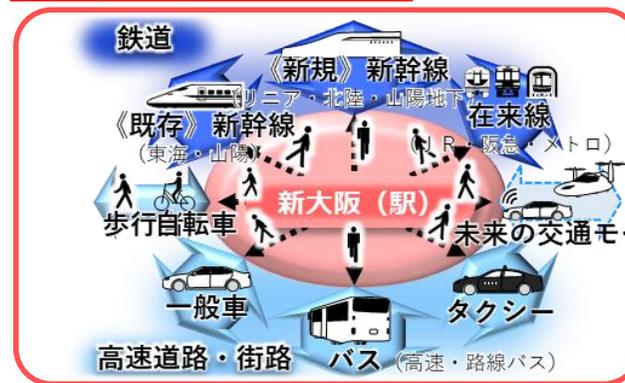
### ◇高速道路ネットワーク



- ・人に寄り添ったサービス
- ・多様な交通サービスの提供
- ・乗り換え利便性の向上
- ・ユニバーサルデザイン
- ・最新技術の導入
- ・革新的モビリティデザインの実現
- ・移動のシームレス化
- ・リダンダンシーの確保
- ・新しい交通システムの実証



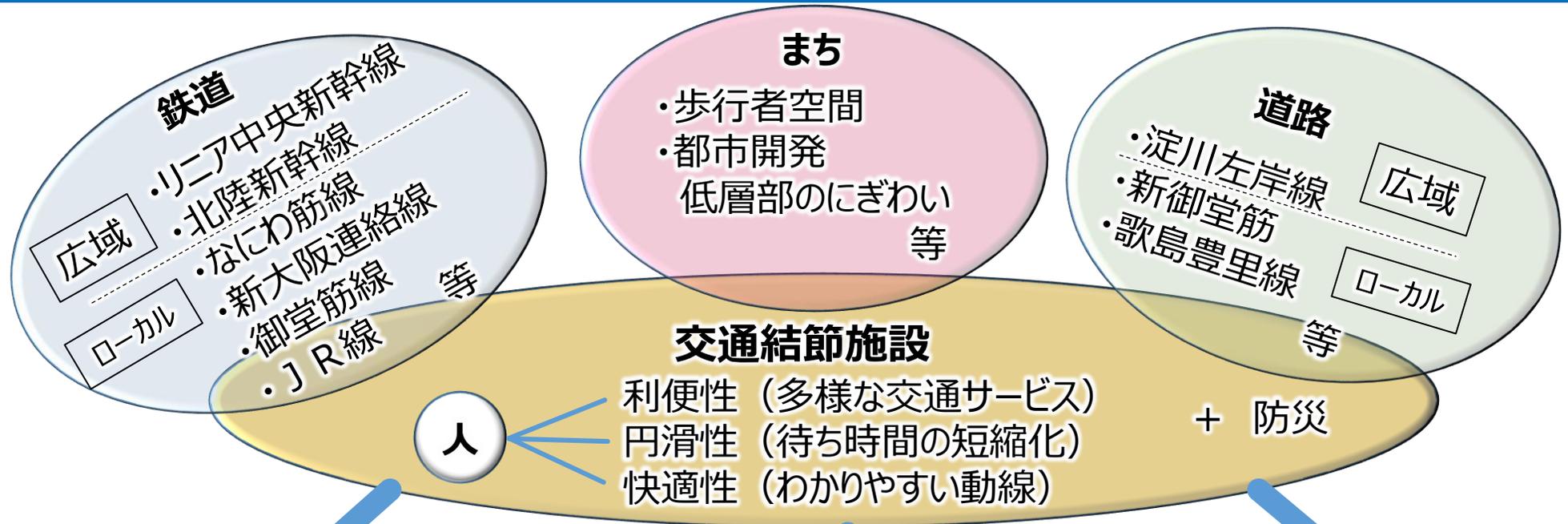
### ○新大阪の交通結節施設



### 取組みの方向性

- ・関係基盤整備の連携、新大阪駅の交通広場での立体的な空間利用の促進、地域内の回遊性を高める、シームレスな交通システムの実証

# 鉄道・まち・道路をつなぐ交通結節施設の全体像



【サイバー空間とフィジカル空間】

## 【歩行者の空間】

- ・乗り換え通路
- ・デッキネットワーク (まちへの広がり、歩車分離等)
- ・ユニバーサルデザイン等

## 【自動車等交通の空間】

- ・端末交通の乗降施設 (タクシー、一般車、バス等)
- ・広域交通の乗降施設 (高速バスターミナル等)
- ・駐車場 ・駐輪場
- ・拡張余地の確保等

## 【利用者サービス空間】

- ・シンボル空間
- ・人の滞留広場
- ・交流施設
- ・飲食・店舗・休憩所
- ・手荷物預かり所等

スマート  
技術

ARナビ、AIロボット案内、顔認証、キャッシュレス、ビッグデータ  
オンデマンド、自動運転、小型モビリティ、MaaS、センシング技術 (カメラ等) 等

# 新幹線・高速道路ネットワークを活かした広域交通結節点の国の方向性について

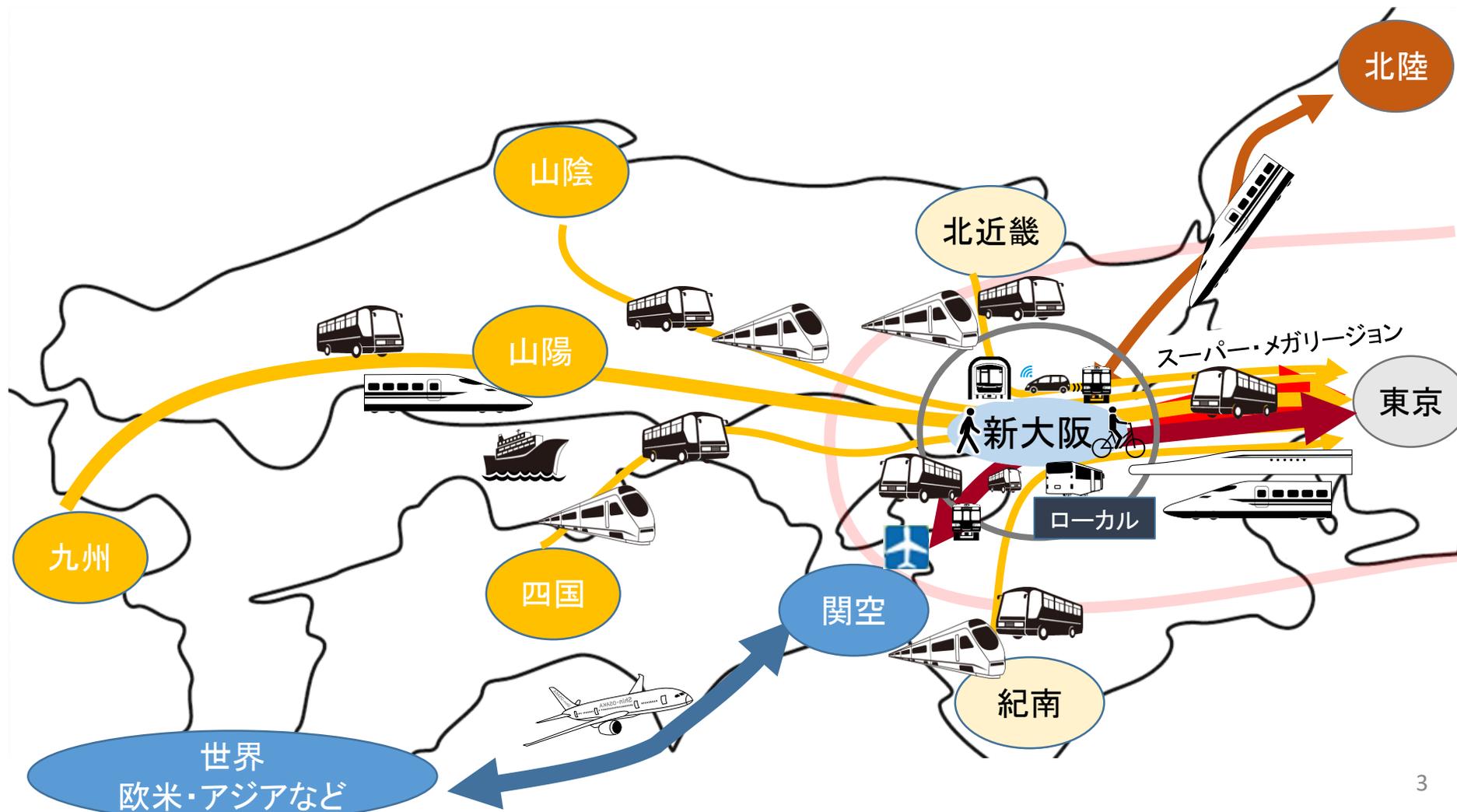
## 国の方向性

○スーパー・メガリージョン

リニア中央新幹線をはじめとした高速交通ネットワークにより生み出される効果を最大限引き出す

○バスタプロジェクトの全国展開

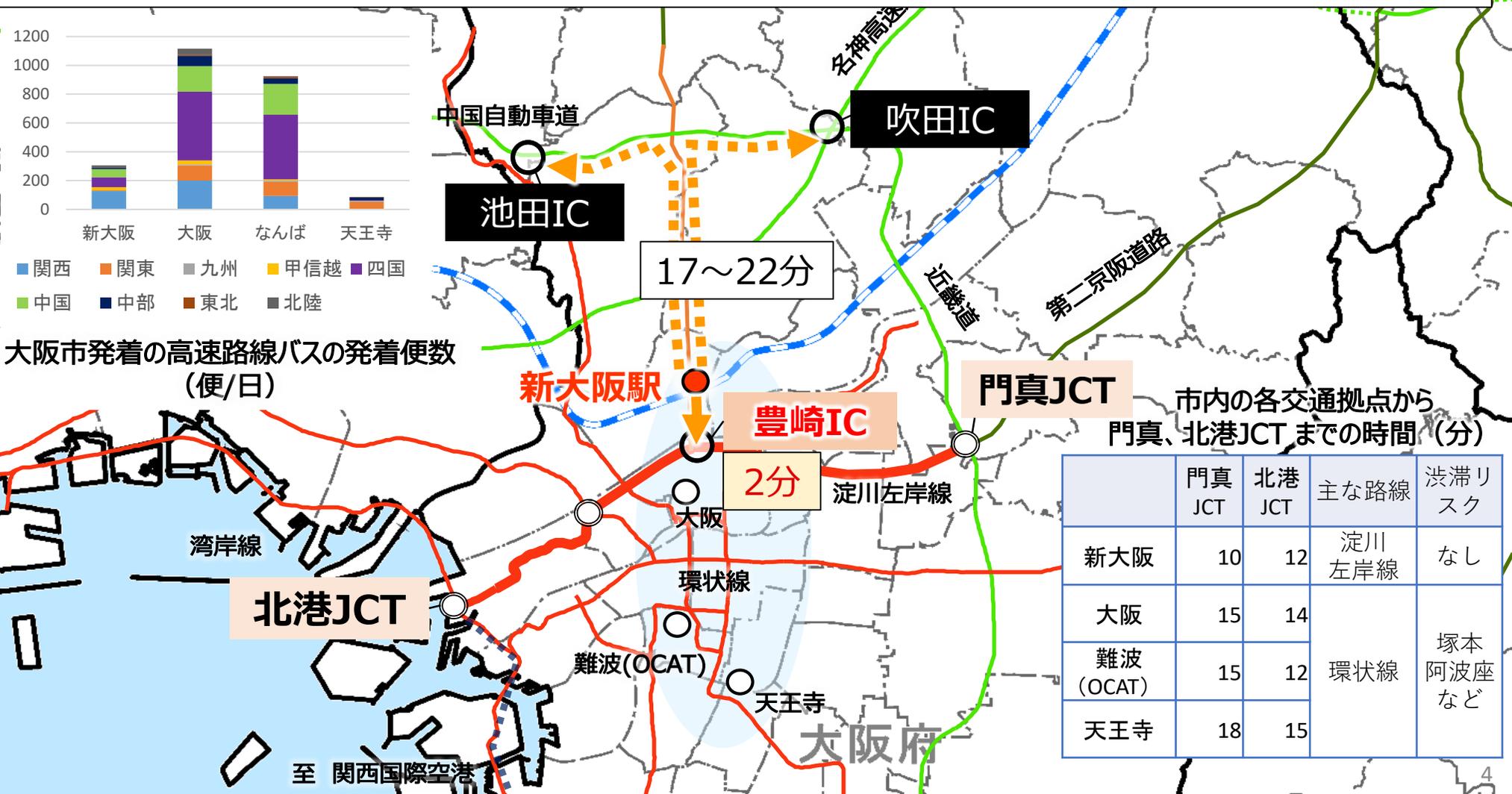
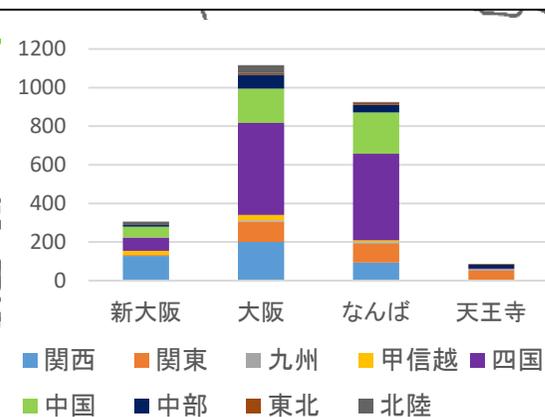
高速道路等をフル活用した、平常時・災害時を問わない公共交通ネットワーク・利用拠点の強化



# 淀川左岸線の整備による新大阪駅の高速道路の利便性の向上

○淀川左岸線整備により、新大阪駅の高速道路 I C までのアクセス性が向上し、最も高速道路の利便性が高く、高速バス利用が有利な拠点となる。

- ・淀川左岸線豊崎 I C まで約2分でアクセスできるので、最大20分短縮できる。
- ・都心部の阪神高速道路環状線を介さないで、交通渋滞リスクが小さい。
- ・広域につながる門真、北港 J C T までのアクセスが市内の他の交通拠点よりも優位（最大8分短縮）。



	門真 JCT	北港 JCT	主な路線	渋滞リスク
新大阪	10	12	淀川左岸線	なし
大阪	15	14	環状線	塚本 阿波座 など
難波 (OCAT)	15	12		
天王寺	18	15		

# 広域交通ネットワークの一大ハブ拠点実現にむけた検討の方向性と項目など

## 【検討の方向性】

- 鉄道・道路・まちのつながりに配慮し、歩行者、自動車等交通、利用者サービスの3空間のバランスに留意し、最適な空間整備
- 自動車等交通の空間検討において、広域交通の需要動向、他拠点との役割、拡張性などに留意し、高速バスの拠点化等
- フィジカルとサイバーでの空間整備を図りつつ、スマートな新技術の導入

## 【項目（平常時、災害時）】

### 1. 空間規模検討

#### ○歩行者の空間

- ・乗り換え通路
- ・デッキ（まちへの広がり、歩車分離等）
- ・ユニバーサルデザイン 等

#### ○自動車等交通の空間

- ・端末交通の乗降施設（タクシー、一般車、バス等）
- ・広域交通の乗降施設（高速バスターミナル等）
- ・駐車場、駐輪場
- ・拡張余地の確保 等

#### ○利用者サービス空間

- ・シンボル空間
- ・人の滞留広場、交流施設
- ・飲食、店舗、休憩所
- ・手荷物預かり所 等

### 2. 整備内容・導入技術の整理・調整

接続も含むレイアウトの整理、空間デザイン  
管理・運営方法の調整  
導入するスマート技術の整理

### 3. 施設の運用と機能更新

機能更新、維持管理、再投資  
拡張余地の活用  
新たな交通モビリティや新技術

## 【検討の進め方】

- ・協議会メンバーを中心に、管理者、関係事業者、学識経験者等の協力を得ながら、検討を進める。
- ・空間規模、整備内容、施設の運用など、整備から運用、更新などを含めた一体的な事業計画の構築の検討を行う。
- ・構築した事業計画については、段階に応じて、バージョンアップを図る。

